令和テキスト版

『大日比三師講説集』出版事業
願王寺資料館ご寄附のお願い

浄土宗史に残る書籍に諸大徳の
御芳名を賜りたくお願い申し上げます。







『大日比三師講説集』は、主な宗典の解説と共に、浄土宗教師が布教を行う際の注意事項や、住持訓等について典拠を挙げて丁寧に講説されています。

【事業主旨】

近世の名僧、大日比三師（法岸・法洲・法道）の著述を収録した『大日比三師講説集』（以下、『講説集』）の再刊を望む声が多く、現在、読みやすさを重視したテキスト版『講説集』の出版に向けて準備を進めています。

『講説集』は浄土宗僧侶必携の良書であります。本書は宗祖法然上人の開かれた浄土宗の教えを伝える布教伝道の解説書として大変優れています。出版の際には、是非ご購入頂き、布教の道しるべとしてご活用して頂きたく存じます。

本事業を含む西圓寺調査研究は、主に西村家の出資により行われていますが、大変な労力と費用を要しております。そこで、浄土宗開宗八五〇年を記念し、大日比三師鑽仰事業として、大日比西圓寺旧蔵資料等を収蔵し、調査研究活動を行う願王寺資料館への御寄附のお願いを申し上げます。本事業へ御寄附を賜りました方の御芳名は出版の書籍内に記載させて頂きます。是非とも、この機会に本事業にご賛同頂ける諸大徳の皆様より御寄附を賜りたく、伏してお願い申し上げます。

令和六年五月佛日

大日比三師鑽仰

願王寺資料館館長　西村光正
願王寺住職　西村文成
責任役員一同
総代一同

【寄附種別】

①特別寄附（一〇万円以上）

●寄附芳名札（中）にてお名前を資料館内に掲示致します。尚、三〇万円以上御寄附の方は寄附芳名札（大）にてお名前を資料館に掲示致します。
●寄附芳名帳にお名前を記載し永代にわたり資料館に掲示致します。
●『講説集』の出版の際には、書籍内に御芳名を記載致します。

②寄附（一万円より）

◎寄附額：三万円以上
●寄附芳名札（小）にてお名前を資料館内に掲示致します。
●寄附芳名帳にお名前を記載し永代にわたり資料館内に安置します。
●御寄附は一万円単位で承ります。
●『講説集』の出版の際には、書籍内に御芳名を記載致します。

◎寄附額：一万円以上
●寄附芳名を紙に記載し資料館に掲示致します。
●寄附芳名帳にお名前を記載し永代にわたり資料館内に安置します。
●『講説集』の出版の際には、書籍内に御芳名を記載致します。

【寄附受付期間】（第4期）

令和8年11月1日から
令和9年10月31日まで

※期間変更の可能性があります。

【出版予定】

令和10年以降（予定）

※変更等ある場合があります。
※最新情報は寺院情報学研究所ホームページにて公開致します。

【寄附方法】

郵便振替にてお願い致します。
次ページの郵便振替用紙の記入例をご参考下さい。

※御寄附の額は一万円単位でお願い申し上げます。※郵便振替用紙が寄附申込書を兼ねますので、通信欄に教区名組名、寺院名、寺院番号をお書き下さい。また、ご依頼人の欄に住所・氏名・電話番号をお書き下さい。※後程願王寺より領収書をお送りします。

願王寺資料館について

願王寺資料館は、西村家の出資により建立され、大日比西圓寺及び大日比三師に関係する資料等を収蔵し、保存、管理、公開をしています。一般寺院では国内屈指の収蔵数を誇ります。館内には一般社団法人寺院情報学研究所を設置し、寺院所在資料の調査研究を行っています。当館は、国や大学、各研究機関と連携し、我が国の寺院所在資料を中心とする文化財の保存と活用に寄与すべく活動しています。また、寺院所在資料の活用方法や現代社会における寺院の役割などについても研究しています。昨今、高度情報化社会の中、個人主義が加速していますが、先人の歩んだ歴史の下に我々の生活があることを重んじ、願王寺資料館では、実際に資料に触れてもらうことにより、日本の美しい伝統や文化、寺院及び地域の歴史を後世に伝えることを使命とし運営をしております。浄土宗教師をはじめ、各種団体の研修会、見学等も受け入れております。詳しくはホームページをご覧下さい。





願王寺資料館　寺院情報学研究所

【お問い合わせ】
k.nishimura134@outlook.com
山口県下関市菊川町田部1120
願王寺　083-287-0301



願王寺資料館館長
（寺院情報学研究所代表理事）
西村光正

郵便振替（青）にて御寄附をお願い申し上げます。
振替口座　01590-1-16706　　加入者名　願王寺

誠にお手数ですが、通信欄に下記の文と情報を記入して下さい。
恐れ入りますが、手数料のご負担お願い申し上げます。

